

高伝熱性 GL 「9000HT」

当社ガラスライニング（GL）製機器は、耐食性が必要とされる化学プロセスで長年使用されています。近年では、耐静電気用の導電性 GL「ECOGLII」や、缶内の視認性が良好な医薬機器用 GL「PPG」、金属イオンの溶出を最小化した低溶出 GL「9500」など、機能性を有した GL への要求が高まっています。

このたび当社では、生産性向上や省エネ、精密な温度コントロール性のニーズから、高伝熱性 GL「9000HT」を新しくラインナップしました。9000HT は一般的な伝熱改善方法であった「ガラス厚み低減」に加え、ガラス自身の熱伝導率を向上させる新しい手法を採用し、伝熱性能の大幅な改善を達成しています。なお、9000HT は経済産業省の「生産性向上設備投資促進税制」の適用対象品です。

【特長】

1. 総括伝熱係数が約1.5倍に向上（当社比、水／スチーム加熱時）
2. 従来と同環境で使用可能

高伝熱下引きガラスと当社の高耐食ガラス9000を組合わせており、耐食性・溶出性は9000と同等です。

【伝熱性能】

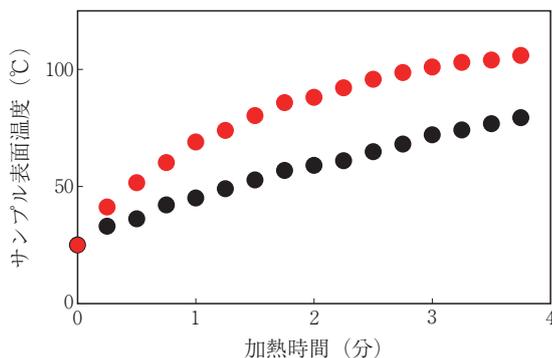


図1 100 mm×100 mm GL 試験片加熱時の表面温度プロファイル
(赤：9000HT，黒：9000標準品)

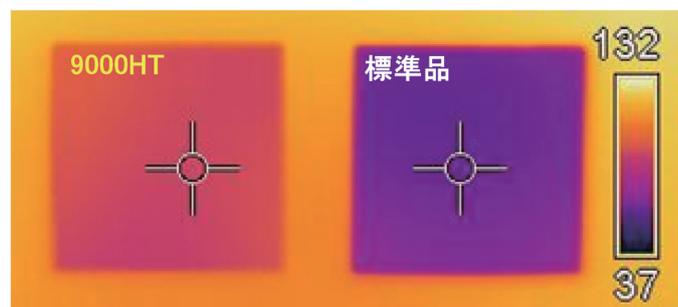


写真1 ヒーター加熱3分後の熱画像
(左：9000HT，右：9000標準品)

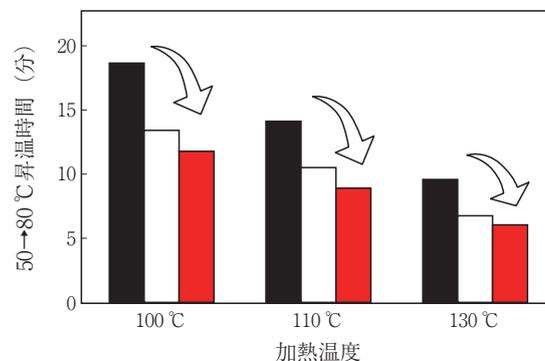


図2 100 Lt 攪拌槽における水の50→80℃昇温所要時間
(黒：9000標準品 + 3枚後退翼，白：9000HT + 3枚後退翼，赤：9000HT + フルゾーン翼)